

備前市事務事業評価シート

事業の概要			
事業開始年度		昭和50年～	
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	04 都市交通施設（駐車場の整備）
事務事業名		02 市営駐車場管理事業	
		根拠法令・例規等	備前市営駐車場条例 備前市営駐車場条例施行規則
		問担当課(室)	日生総合支所管理課
		職・氏名	課長代理 星尾 靖行
		電話	72-1254

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	公営駐車場を利用する市民及び観光客
目的(何のために)	公営駐車場の整備や施設の適切な管理運営を行うことで、地区住民をはじめ商店街や島民の利便性の向上と駐車違反の防止を図る。
行政活動(どのような方法で)	定期駐車場、一般駐車場の管理運営及び整備
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	違法駐車を廃止し、安全で生活しやすいまちづくり

事業の実績						
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
	定期区画数	区画	374(287・87)	394(314・80)	394(314・80)	
	定期利用実績	%	86	84	82	
	維持補修件数	件		1	4	
	事業費					
	直接事業費	千円	18,320	17,080	16,714	
	必要人員	人	0.95人	0.96人	0.61人	
	必要人員費	千円	6,732	5,617	4,850	
	事業費計	千円	25,052	22,697	21,564	
	財源	千円				
国県支出金						
受益者負担		20,131	19,006	19,000		
繰入金						
市債						
その他(駐車場土地貸付収入)				11		
一般財源		4,921	3,691	2,553		
受益者負担比率	%	80.4%	83.7%	88.1%		
結果指標						
結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績		
市営駐車場利用区画数	説明	利用率アップを図る				
結果指標量	区画	321	329	323		
対前年比	%	-	102.5%	98.2%		
活動コスト	円	25,052,000	22,697,000	21,564,000		
単位当たりコスト	円	78,044	68,988	66,762		
結果指標	説明					
結果指標量	-					
対前年比	%					
活動コスト	円					
単位当たりコスト	円					

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
駐車場利用率の向上	目標値(A)	90%	90%	90%	利用率90%を目指す
	実績値(B)	86%	84%	82%	到達目標年度
	達成率(B/A)	95.55%	93.33%	91.11%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
利用率 = (市営駐車場の利用区画数 ÷ 市営定期駐車場総区画数) × 100					

事務事業の評価		(平成20年度事業)	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価 < A ~ E > B 判定理由・課題認識 日生地域は山地が海岸部まで迫り、宅地が少ないうえ道路も狭小で自宅に駐車場を確保している市民が少ないため、約20年前から行政課題として取り組んできました。また、島への観光客等の駐車場がないことから実施している事業である。しかし現在、商店街の空洞化が進み、民間駐車場も増加傾向にあり、地域によっては見直しを必要とする。吉永地域では、吉永駅前駐車場は、R利用者にとっては必要な駐車場であり、また、上ノ鼻駐車場は雇用促進住宅裏にあり、促進住宅住民が利用し違法駐車防止を図っている。
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明	効率性評価 < A ~ E > B 判定理由・課題認識 日生地域では、半期で使用料の徴収をし、平成19年の11月から一般駐車場の管理人制を止めており、事務処理も条例上これ以上の簡素化は難しいと考えている。吉永地域では、収納等の管理の一部を委託しており、これを指定管理に移行すればコストが上がるため、日生・吉永地域とも現状維持の管理が最善と考える。
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	有効性の評価 目的達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている
	市民参画度		有効性評価 < A ~ E > B 判定理由・課題認識 定期駐車場の利用率は、目標の90%には達していないが、80%を超えており、市民に取って必要性不可欠なものであることは明らかである。今後の課題として、日生地域では、民間駐車場増加による利用率の低下の恐れ、吉永地域では、JRの利用率減少による駅前駐車場の利用率低下の課題がある。

平成21年度の状況							
目標値	結果指標量	355	結果指標量	補修件数0	成果指標量	利用率90%	
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	現時点では、日生・吉永とも現状維持の管理が最善と考える。						

総合評価	
事業実施することで駐車違反の減少、市民の利便性が向上しつつある。地域によっては見直した方が良い駐車場もある。駐車場事業は、一度整備すると修繕、改修費が余り必要でないのでコスト経費は余りかからない。現時点では、このままの管理運営が最善と考える。	評価区分 < A ~ E > B

平成22年度以降の方向性・内容							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	現時点では、日生・吉永とも現状維持の管理が最善と考える。						
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果			

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。